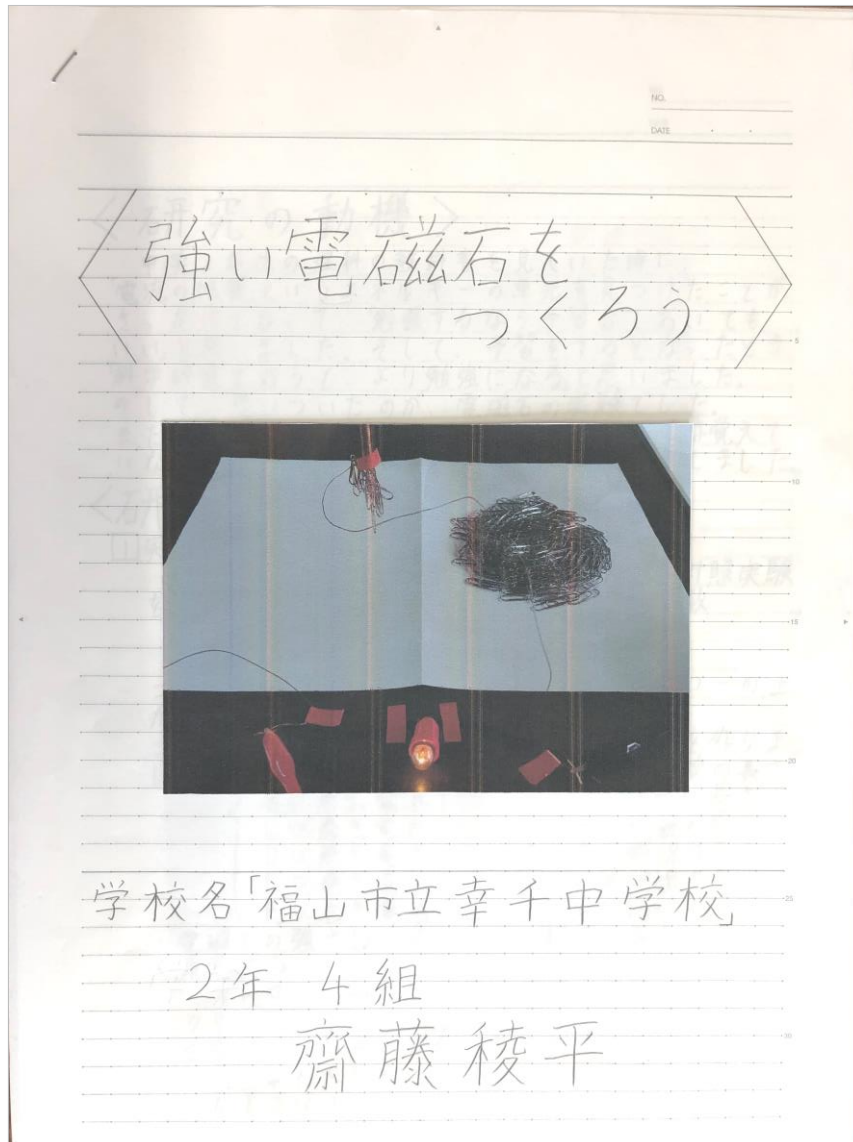


「強い電磁石をつくろう」

幸千中学校 2年 齋藤 稜平



実験をする中で、より一層電磁石の面白さを感じました。

「豪雨災害について」

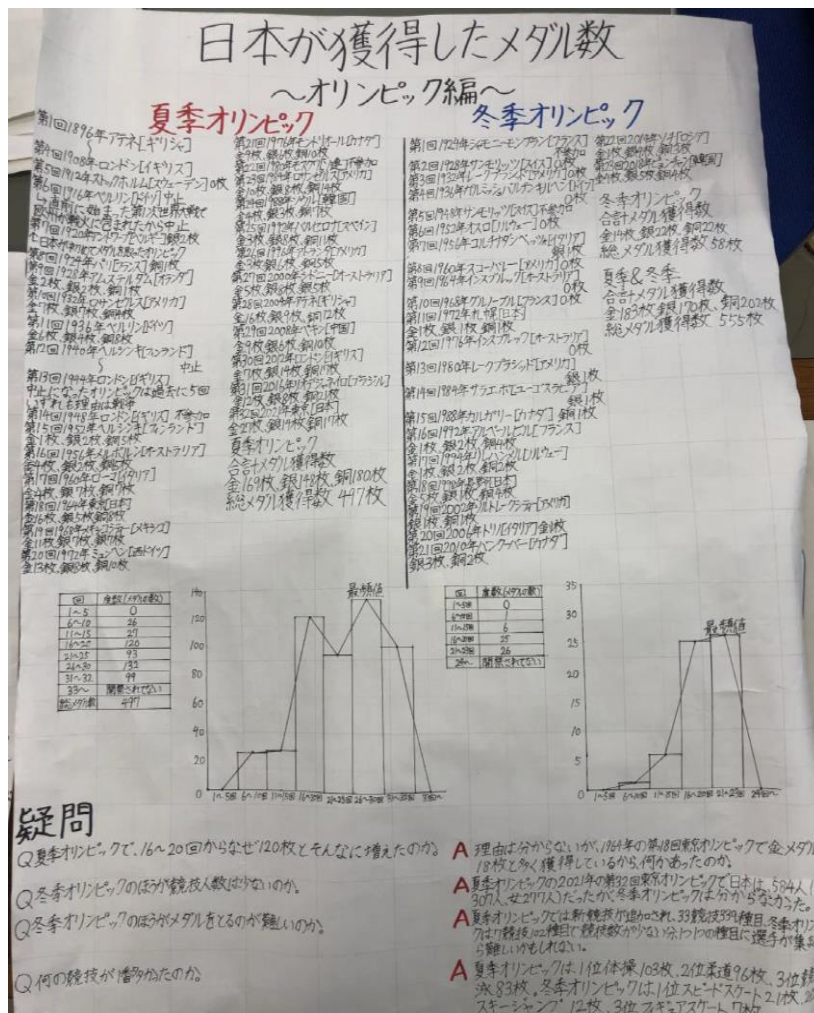
幸千中学校 2年 三好 海音



命を守るために災害の恐ろしさとその備えを多くの人に理解してほしいと思い作りしました。

「統計にチャレンジ(日本が獲得したメダル数)」

幸千中学校 2年 高山 陽

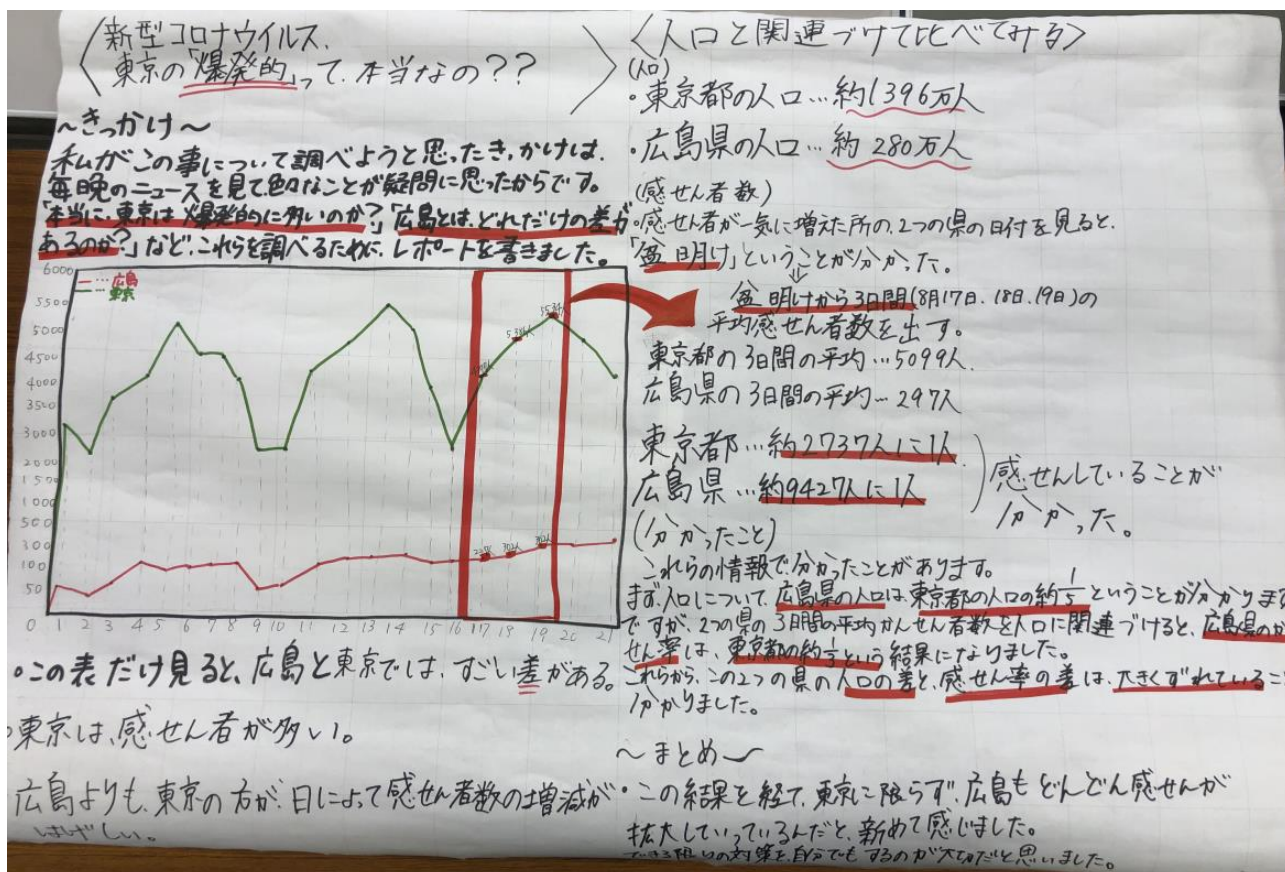


コロナ禍の中ではあったけど、東京オリンピックが盛大に開催され盛り上がっている状況を肌で感じ、オリンピックの歴史や日本人選手の活躍について知りたいと思い作成してみました。

「統計にチャレンジ

(新型コロナウイルス 広島県と東京との比較)」

幸千中学校 2年 内田 桃花



みんな一人ひとりができる感染対策を行っていくことが、自分や大切な人を守るために必要なことだと改めて感じることができました。

「学校をよくするポスターにチャレンジ
(早寝早起き朝ご飯)」

幸千中学校 2年 内田 桃花

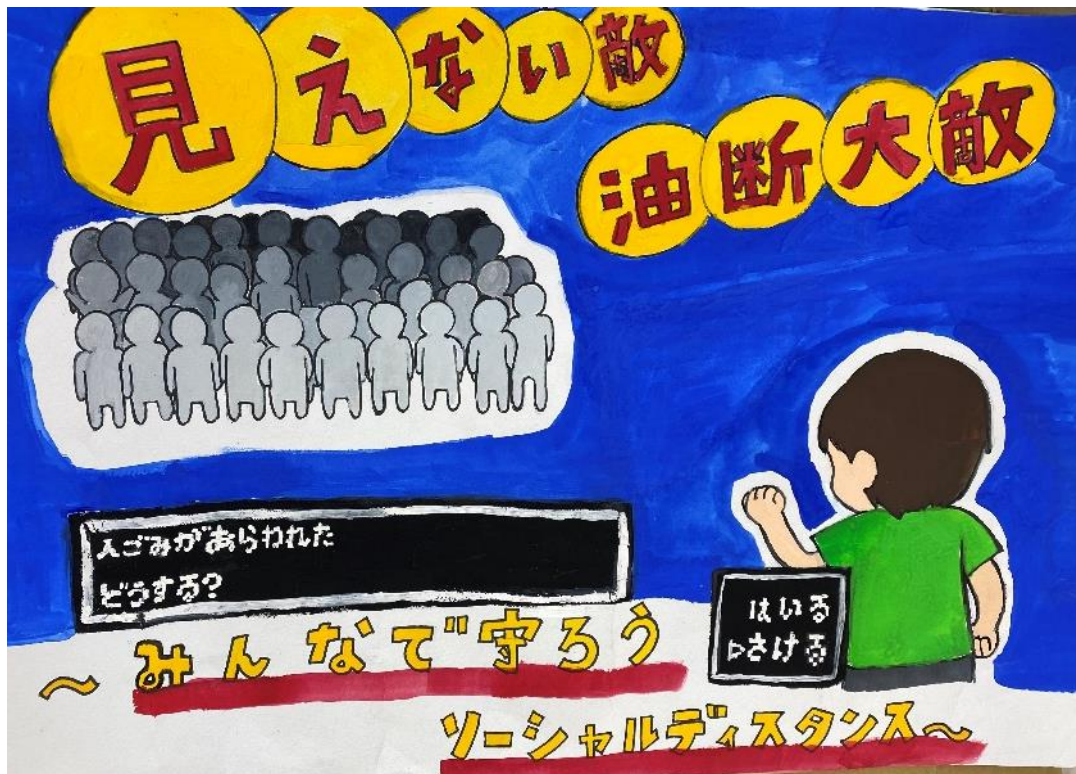


生活リズムが中々整えられないみんなに朝ご飯を食べたくなるようなポスターを描きました。美味しそうになるよう卵のツヤをどう描くか苦勞しました。

「学校をよくするポスターにチャレンジ

(ソーシャルディスタンスを訴えるポスター)」

幸千中学校 2年 菅 祐里



コロナ禍でソーシャルディスタンスを保つためみんなが興味あるゲームを題材に絵を描きました。「見えない敵油断大敵」と入れてゲームの面白さを取り入れました。

「学校をよくするポスターにチャレンジ
(コロナに打ち勝て)」

幸千中学校 2年 山本 彩瑛



兄が野球をしているのでそれを参考にして、「コロナに打ち勝て」というポスターを描きました。斜めにバットを入れたのがスピード感が出たと思います。

「雨の日専用入り口 かわくん/どこでもかわくん」

幸千中学校 3年 吉岡 胡春

アイデア名	雨の日専用入り口 かわくん/どこでも かわくん		
フリガナ	アメオケ コ ハル		
名前	吉岡 胡春	学年	3年
学校名	広島 県・道・府(県) 福山 (市)区・町・村 幸千中学校 (通学している学校名を記入します)		
応募方法	1. 学校から 2. 発明クラブなどの団体 3. 個人で 団体名()		
◎ここからは必ず自分で書きましょう。Bの鉛筆が黒のボールペンではっきりと書いてください。			
1. なぜこのアイデアを思いつきましたか			
<p>雨の日に店内に傘を持って入る時に、今までは、使い捨てのビニールを被せていたけれど、それはエコではないのでこの案を考えました。</p>			
2. 作品が完成していたら、写真をはってください			
3. 作品を実際に作ってみましたか <input type="checkbox"/> 作りました <input type="checkbox"/> いま作っている <input checked="" type="checkbox"/> 作っていません			
4. アイデアの図を書いてください			
<p>〔雨の日専用入り口 かわくん〕</p>		<p>〔どこでも かわくん〕</p>	
<p>5. 上の図の説明を書いてください</p> <p>入口から入って、傘をセンサーに近づけると、高圧の空気が出て、傘を乾かします。乾いたら、そのまま入店できます。入店すると、次の人が入口から入れます。</p>		<p>蓋を開けて傘を入れると、半回転します。吸気口の部分から、高圧の空気が出て、傘を乾かし、もとの状態に戻ります。蓋を開けて、傘を取り出し、入店できます。</p>	

SDGs を学習して、少しでも世の中のプラスチックごみの削減につながればと考えました。

「学校をよくするポスターにチャレンジ
(水分補給を訴えるポスター)」

幸千中学校 3年 河中 綾佳



水分補給の大切さを訴えるポスターを描きました。「あーおいしい」と書くところを「あーぶちうま」というキャッチフレーズにして、みんなが注目するようにしました。